

バローとアサヒ飲料、十六銀

県環境保全活動に寄付

県の環境保全活動に役立ててもらおうと、バローとアサヒ飲料中部北陸支社は「十六茶」シリーズの売り上げの一部75万5046円を、十六銀行は無通帳口座「eco楽」に切り替えた件数などに応じた15万5500円を県に寄付した。

シリーズ3種のうち対象商品1本の販売ごとに1円を県へ寄付するキャンペーンを展開してきた。十六銀行は2〜7月に「SDGsを応援! eco楽切替で500円プレゼントキャンペーン」を実施し、無通帳口座に切り替えた件数などに応

じて寄付した。

寄贈式が20日、県庁で行われ、バローホールディングスサステナビリティ推進室の秋元武室長とアサヒ飲料中部北陸支社の谷川一幸支社長、十六銀行の所孝一常務執行役員が、渡辺正信環境生活部長に目録を手渡した。渡辺部長からは知事感謝状が贈られ、3人は「これからも清流の国ぎふの美しい環境を守り続けたい」「県の活動の一助になれば」などと話した。県は環境教育や啓発活動などに活用する。

(湯浅裕作)



県の環境保全活動に寄付した
谷川一幸支社長(中央)と秋元
武室長(左)県庁



寄付の目録を渡した所孝一常務
執行役員(左)県庁